はじめに　1

第Ⅰ部

第1章　言葉を発する「虫」――「応声虫」という奇病　……11

一　「応声虫」の事例　12
二　創作文芸に見る「応声虫」　20
三　医書の「応声虫」論　24
四　「応声虫」とは何か――精神医学的検討　35

第2章　「虫」の病と「異虫」　……55

一　「虫証」　56
二　姿を現す「異虫」たち　61
三　顕微鏡の登場とその波紋　72
四　顕微鏡による「異虫」の観察　79

第3章　「諸虫」と「五臓思想」　……89

一　「諸虫」　90
二　「五臓思想」　106
三　「離魂病」　116
四　「五臓」と「虫」　127

第4章　「虫の居所」――「腹の虫」と「胸の虫」　……137

一　「腹の虫」と「胸の虫」　138
二　「癪」――「腹」と「胸」の病　154
三　「癪の虫」　175
四　「虫の居所」としての「腹」と「胸」　183

第5章　「疳の虫」　……191

一　文芸作品の「疳の虫」とその周辺　192
二　医家による見解　202
三　「疳」の病症変遷――「疳」と「労」　219
四　「疳」と「労」の「虫」像　230

第6章　「疳の虫」の民間治療 …… 243
一　江戸時代の「疳の虫」の治療法　244
二　「虫封じ」の民俗誌　254
三　現代の「虫封じ」　263
四　「虫封じ」の社会における意味　276

第Ⅱ部

第7章　「虫」病前史――「鬼」から「虫」へ …… 287
一　「霊因」と医の領域　288
二　「鬼」と「尸」　303
三　「伝尸鬼」と「伝尸虫」　311

第8章　「虫」病の誕生 …… 325
一　室町・戦国期の日記と「虫」所労　326
二　わが国特有の「虫」病　333
三　「胸虫」から「積虫」へ　347

第9章　「虫」観・「虫」像の解体と近代化 …… 355
一　「脳・神経」学説とその影響　356
二　「虫」の発生思想とその変容　377
三　近代医学と「虫」病の解体　392

第10章　教科書と近代文学に見る「五臓」用語と「脳・神経」表現 …… 411
一　初等教育用教科書に見る心身観　412
二　近代文学に見る「脳・神経」と「虫」　424
三　消え去ることのない「腹の虫」　440

おわりに　449

注　455
あとがき　477
文献一覧　巻末13
事項索引　巻末4
人名索引　巻末1